

# 弘法大師空海のものがたり

誕生

多才だった弘法大師空海。仏の道だけでなく様々な分野で活躍しました

7歳

讃岐国屏風ヶ浦(今香川県善通寺市)で誕生  
幼名は佐伯真魚(さえきまお)  
父は地元の官僚・佐伯普通(よしのみち)  
母は玉齋御前(たまよりごせん)

弘法により人々を救済する誓いを立て  
切り立つ崖から身を投げた

仙遊ヶ原の拝礼 1  
泥土で仏像や御堂を作って遊んでいたという地

捨身誓願 1  
弘法により人々を救済する誓いを立て  
切り立つ崖から身を投げた

都の大学に入学するものの、  
仏法に目覚め修行に  
身を投じる

密教を学ぶため唐に渡ることを決意 3  
都の大学に入学するものの、  
仏法に目覚め修行に  
身を投じる

渡海入唐 31歳  
遣唐使船で出帆。唐の都・長安にたどり着く。  
毎年都長官で遣唐使をさまざまな哲學、宗教を学んだ

仙遊ヶ原の拝礼 2  
泥土で仏像や御堂を作って遊んでいたという地

修行を経て「空海」と  
名乗るよう

7歳

唐で密教を体得 32歳  
中国密教の最高位・惠果阿闍梨(けいかあじやり)のもとで  
あらわる教義を吸収!

帰国 33歳  
圓照金剛(へんじょうこんごう)の名を得て、密教の第八祖に  
高い内容から誤解が解け、無事

40歳 満濃池の修築 34歳  
貴重な經典や宝物を持ち帰り、密教の普及に務める

42歳 御入定 35歳  
入定瞑想し悟りの境地に入ることに至る

48歳 四国巡礼 5  
阿波・土佐・伊予・讃岐を巡る

62歳 善通寺建立 4  
郷里・讃岐国で難工事を完成させる

821年 大師号を賜る 48歳  
聖闘天皇より、「弘法大師」の諡号(じごう)を賜る

835年 40歳  
圓頂(かんじょう)「仮位受職の儀式」で  
「遍照金剛(へんじょうこんごう)」の名を得て、密教の第八祖に

840年 42歳  
難破(なんぱ)により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

845年 43歳  
國寶として迎えられた

850年 33歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

855年 32歳  
唐に渡ることを決意 33歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

860年 33歳  
唐に渡ることを決意 34歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

865年 34歳  
唐に渡ることを決意 35歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

870年 35歳  
唐に渡ることを決意 36歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

875年 36歳  
唐に渡ることを決意 37歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

880年 37歳  
唐に渡ることを決意 38歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

885年 38歳  
唐に渡ることを決意 39歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

890年 39歳  
唐に渡ることを決意 40歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

895年 40歳  
唐に渡ることを決意 41歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

900年 41歳  
唐に渡ることを決意 42歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

905年 42歳  
唐に渡ることを決意 43歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

911年 43歳  
唐に渡ることを決意 44歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

916年 44歳  
唐に渡ることを決意 45歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

921年 45歳  
唐に渡ることを決意 46歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

926年 46歳  
唐に渡ることを決意 47歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

931年 47歳  
唐に渡ることを決意 48歳  
難破により、予定地より大き  
く南に着岸。密輪船と疑われ  
るも書が書かず手紙の教養

多くの人が集住し、  
信仰が生まれていました

暮らしを支える豊かな湧き水

善通寺、東寺、金剛峯寺

弘法大師空海の三大霊跡

温暖で過ごしやすい讃岐平野が広がり、交易の要所である瀬戸内海にもほど近いこのエリア。五岳山から流れ出る水は、古代から人々の暮らしを支えてきました。

飲料水や洗い物、田畠に使われる重要な水源として保護されています。お殿様の休み処としても整備されたりもしました。

理由は水があったのかもしれません。人が集まり信仰が生まれた

まをも流れる金倉川の古い川筋

は温原や地下水としてこの地を潤し、作物などの恵みをもたらしてきました。古墳時代の遺跡には、雑穀を保管するための穀倉が描かれたものもありました。人が集まり信仰が生まれた理由は水があったのかもしれません。

私は水があったのかもしれません。

弘法大師空海は天才インフルエンサーだった

弘法大師空海は

天才インフルエンサーだった

弘法大師空海は

## 七ヶ所まいり

宗派や歴史、境内に広がる景色も実際にさまざまな七ヶ寺。  
五感をフル回転させてそれぞれの魅力をもっと体感してみよう。

座って見上げてみよう! 岩壁に佇む洞地蔵  
大師堂の廊下の10m頭上にあるお地蔵さまの石仏。  
首から上の病にご利益があるとか。

長生きにご利益あり!?  
木彫りの亀2匹はいずこに?  
「延命院」の院号を持つ曼荼羅寺。池には亀が泳ぎ、  
七福神は福禄寿。長寿の願いを叶えてくれるかも。

幸福の鐘と天空の鐘  
2つの音を讃岐平野に響かせよう  
本堂の上に奥の院にある鐘楼(しようろう)からは讃岐平野の絶景を見下ろせます。  
本堂・大師堂への参拝前に撞(つ)きましょう。

その数16羽! 仏法説話にも登場する  
月のウサギを探してみよう  
甲山寺の月光菩薩にちなみ、境内のあちこちに  
ウサギの姿が。お守りや御朱印帳などにも使われています。

街のシンボル、43mの五重塔を  
間近にじっくり眺めよう  
日本で3番目に高い塔の内部は毎年GWに見学可。  
階段のある珍しい造りで、中央の心柱は浮いています!

15:00 宿坊いろは会館(宿泊)  
6:00 朝の勤行  
4.5km

人それぞれに響きが違う!  
音曼荼羅で心洗われるひとときを  
本堂にある、十二のおりんでできた音のお守り。  
自分や大切な人の音を重ね合わせて鳴らしてみましょう。

七ヶ所まいりは自転車や車で1日でも回れますが、ゆったりと1泊2日で歩き遍路を体験してみるのもおすすめ。  
善通寺の宿坊で1泊し、翌朝のお勤めにも参加すれば心身ともに癒されます。



見る 聽く 探す  
四国霊場  
七ヶ所まいり  
遊歩帳  
ゆうほちょう



**曼荼羅寺 POINT**

- 平安時代末期の聖観音立像はおやかな顔立ち
- 本堂の片隅にいらっしゃるのは真っ赤な身体の“びんざるさん”なぜりと病が治るか?



**出釋迦寺 POINT**

- 本尊の釈迦如来像は弘法大師が刻んだもの
- 釈迦の誕生日(ちなん)“生まれうき”の飾り物を探してみよう
- もととは我拝師山上にある奥の院(捨身ヶ巖禅定)がそれ所だった

500m

国土地理院の地図データを元にイラストマップとして編集・加工しております

## 道隆寺 POINT

- 本尊薬師如来は目にご利益あり  
年の数だけ「めめめ…」と書いて奉納しよう
- 本尊は、弘法大師作の薬師如来像の胎内に和氣道隆作の薬師像を納めた「二体薬師」(50年に一度弘法大師御遠忌で開帳)



第77番札所  
道隆寺

どうりゅうじ

道隆寺

どうりゅうじ